【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成29年12月7日(2017.12.7)

【公開番号】特開2016-92683(P2016-92683A)
【公開日】平成28年5月23日(2016.5.23)
【年通号数】公開・登録公報2016-031
【出願番号】特願2014-227270(P2014-227270)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｓ　5/02　(2006.01)
Ｈ０４Ｒ　3/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｓ　7/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｒ　1/40　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｓ　5/02　Ｅ
Ｈ０４Ｒ　3/00　３１０
Ｈ０４Ｓ　7/00　Ｆ
Ｈ０４Ｒ　1/40　３１０

【手続補正書】
【提出日】平成29年10月26日(2017.10.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　複数の話者毎の複数の発話区間を含む音声信号を電子機器の複数のスピーカから出力するための方法であって、
　前記複数の話者毎の前記複数の発話区間を含む前記音声信号をメモリに記録し、
　前記メモリから前記音声信号を再生する際に、前記複数の話者毎に発話区間を識別可能なように画面に表示し、
　前記複数の話者毎の前記複数の発話区間のうち、第１話者による第１発話区間の第１音声を指定するための画面操作を受け取り、
　前記複数のスピーカを用いて、前記指定された前記第１発話区間の前記第１音声を前記電子機器の第１方向から聞こえるように再生し、
　前記複数のスピーカを用いて、前記指定がない前記第１発話区間以外の第２発話区間の第２音声を前記電子機器の前記第１方向とは異なる第２方向から聞こえるように再生する、方法。
【請求項２】
　複数の話者毎の複数の発話区間を含む音声信号を出力する複数のスピーカと、
　前記複数の話者毎の複数の発話区間を含む前記音声信号をメモリに記録し、前記メモリから前記音声信号を再生する際に、前記複数の話者毎に複数の発話区間を識別可能なように画面に表示し、前記複数の話者毎の前記複数の発話区間のうち、第１話者による第１発話区間の第１音声を指定するための画面操作を受け取り、前記複数のスピーカを用いて、前記指定された前記第１発話区間の前記第１音声を前記電子機器の第１方向から聞こえるように再生し、前記複数のスピーカを用いて、前記指定がない前記第１発話区間以外の第２発話区間の第２音声を前記電子機器の前記第１方向とは異なる第２方向から聞こえるように再生する処理手段とを備える、電子機器。

【請求項３】
前記処理手段は、前記第１発話区間の前記第１音声に基づいて前記複数のスピーカからそれぞれ再生出力される複数の音声が、前記電子機器に対向する前記第１方向以外の前記第２方向で強め合うように、前記複数の音声間に位相差を設ける、請求項２に記載の電子機器。
【請求項４】
前記処理手段は、前記第１話者とは異なる第２話者による前記第２発話区間の前記第２音声に基づいて前記複数のスピーカからそれぞれ再生出力される複数の音声が、前記第１音声が強め合う方向と異なる方向に強め合うように、前記複数の音声間に位相差を設ける、請求項２に記載の電子機器。
【請求項５】
前記処理手段は、前記第１話者による前記第１発話区間の前記第１音声に基づいて前記複数のスピーカからそれぞれ再生出力される複数の音声が強め合う方向と、前記第２話者による前記第２発話区間の前記第２音声に基づいて前記複数のスピーカからそれぞれ再生出力される複数の音声が強め合う方向とを、前記第１音声および前記第２音声に対応した前記音声信号の記録時における前記第１話者と前記第２話者との位置関係、またはユーザの前記画面操作に基づいて設定する、請求項４に記載の電子機器。
【請求項６】
前記複数のスピーカからそれぞれ再生出力される前記第１音声の音量と前記第２音声の音量とが異なる、請求項５に記載の電子機器。
【請求項７】
複数の話者毎の複数の発話区間を含む音声信号を電子機器の複数のスピーカから出力することをコンピュータに実行させるためのプログラムであって、
前記複数の話者毎の前記複数の発話区間を含む前記音声信号をメモリに記録し、
前記メモリから前記音声信号を再生する際に、前記複数の話者毎に発話区間を識別可能なように画面に表示し、
前記複数の話者毎の前記複数の発話区間のうち、第１話者による第１発話区間の第１音声を指定するための画面操作を受け取り、
前記複数のスピーカを用いて、前記指定された前記第１発話区間の前記第１音声を前記電子機器の第１方向から聞こえるように再生し、
前記複数のスピーカを用いて、前記指定がない前記第１発話区間以外の第２発話区間の第２音声を前記電子機器の前記第１方向とは異なる第２方向から聞こえるように再生することを前記コンピュータに実行させる、プログラム。
【請求項８】
前記第１発話区間の前記第１音声に基づいて前記複数のスピーカからそれぞれ出力される複数の音声が、前記電子機器に対向する前記第１方向以外の前記第２方向で強め合うように、前記複数の音声間に位相差が設けられている、請求項７に記載のプログラム。
【請求項９】
前記第１話者とは異なる第２話者による前記第２発話区間の前記第２音声に基づいて前記複数のスピーカからそれぞれ再生出力される複数の音声が、前記第１音声が強め合う方向と異なる方向に強め合うように、前記複数の音声間に位相差が設けられている、請求項８に記載のプログラム。
【請求項１０】
前記第１話者による前記第１発話区間の前記第１音声に基づいて前記複数のスピーカからそれぞれ再生出力される複数の音声が強め合う方向と、前記第２話者による前記第２発話区間の前記第２音声に基づいて前記複数のスピーカからそれぞれ再生出力される複数の音声が強め合う方向とを、前記第１音声および前記第２音声に対応した前記音声信号の記録時における前記第１話者と前記第２話者との位置関係、またはユーザの前記画面操作に基づいて設定することを前記コンピュータに実行させるための、請求項９に記載のプログラム。

【請求項１１】
　前記複数のスピーカからそれぞれ再生出力される前記第１音声の音量と前記第２音声の音量とが異なる、請求項１０に記載のプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
　実施形態による方法は、複数の話者毎の複数の発話区間を含む音声信号を電子機器の複数のスピーカから出力するための方法である。この方法は、前記複数の話者毎の前記複数の発話区間を含む前記音声信号をメモリに記録し、前記メモリから前記音声信号を再生する際に、前記複数の話者毎に発話区間を識別可能なように画面に表示し、前記複数の話者毎の前記複数の発話区間のうち、第１話者による第１発話区間の第１音声を指定するための画面操作を受け取り、前記複数のスピーカを用いて、前記指定された前記第１発話区間の前記第１音声を前記電子機器の第１方向から聞こえるように再生し、前記複数のスピーカを用いて、前記指定がない前記第１発話区間以外の第２発話区間の第２音声を前記電子機器の前記第１方向とは異なる第２方向から聞こえるように再生する。